

竹紡庵 ちくぼうあん

この茶室は竹の集成材を組み立てたものです。岸和田市では、アドベンチャーワールド・白浜町とパンダバンブー Smile 広域包括連携協定を締結し、ジャイアントパンダに竹の枝葉を餌として提供し、食べない竹の幹部分を活用する「パンダバンブープロジェクト」を進めており、滋賀県立大学陶器造一研究室の協力のもと、岸和田市市政 100 周年事業の一環で、産学官連携し、制作しました。

「着替わり自由な小断面可変空間」

細く短い材で格子状に連なる茶室空間は、釘や金物を使うことなく手作業で組み立てることが可能な三方格子により構成され、移設、解体が簡単にできる建築である。しなやかな構造特性を持つ竹を素材として、曲線的で優美な、新たな日本の和風建築空間を創り出す。



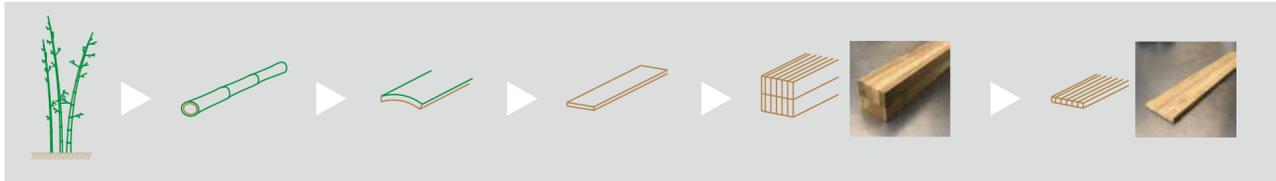
竹林の中で利用されている様子



岸和田場内にて茶室内から屏風を見る

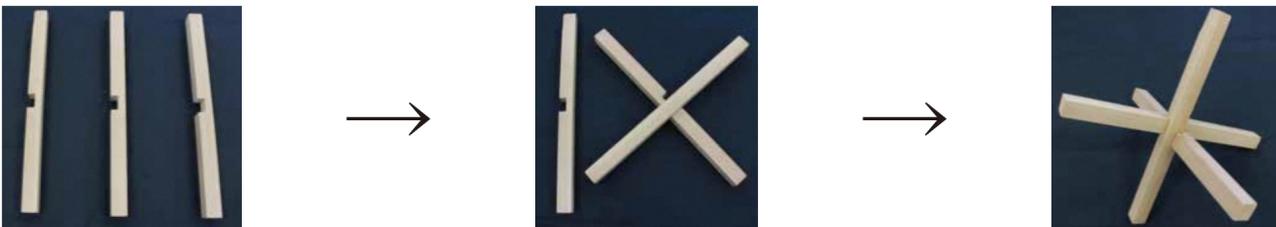
竹集成材挽板

作り方 この小建築で用いる新材料は、割竹を挽いて平らにした薄平板を積層した 18 mm 角材である。竹はしなやかな強度のある素材であるため、木材に比べて細い材での繊細な建築を実現できる。



三方格子

組み方 一定間隔に施された相欠きを 1/2 図つずらして三方向に組み合わせることで組むことができ、同じシステムで連結させることで空間を構成する。



施工フロー



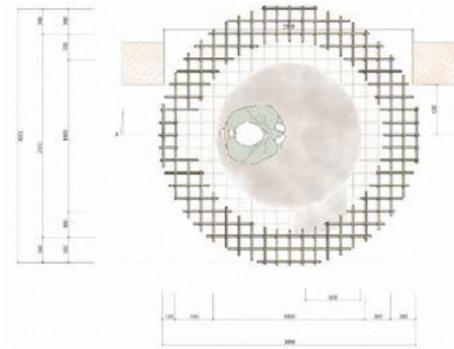
施工風景



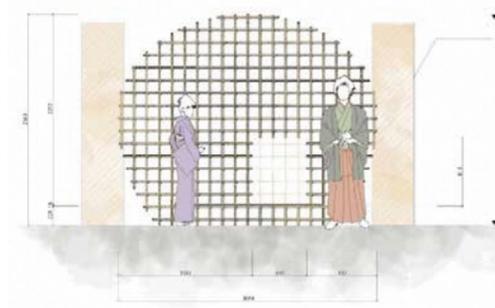
設計・施工 滋賀県立大学 陶器造一研究室
部材製作 株式会社 竹田木材工業所

※この作品は、一般財団法人 住総研の実践助成を得て制作したものです。

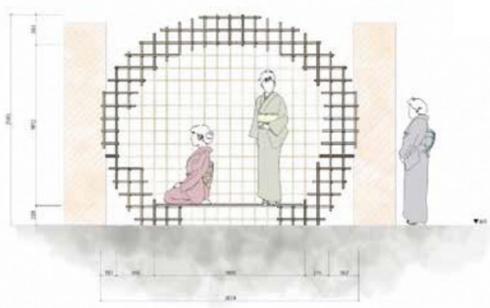
※この作品は、滋賀県立大学陶器造一研究室卒業生 松本洋太氏の実案をもとに設計したものです。



平面図 1/60



立面図 1/60



断面図 1/60